

文学部・教育研究上の目的及び3つのポリシー

教育研究上の目的

文学部は、人文諸科学に関する学識を修めることを通し、広い識見と深い洞察力をもち、人間の生き方やあり方を考究し、多様な現代社会ならびに国際社会の諸問題に対応できる人材を養成することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（日本文学・中国文学・英米文学・教育学・書道学・歴史文化学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

(1) 人文諸科学に関する学識を修め、人間や世界に対する柔軟な想像力と洞察力を持つことができる。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

(1) 自ら設定した課題について、人間文化・地域文化・歴史文化・言語文化のいずれかの学問領域の研究方法を用いて、考察することができる。

(2) 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭表現や文章表現によって、的確に伝えることができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

(1) 各学科で学んだそれぞれの専門性を生かし、社会において真摯に課題に取り組み、解決しようと努力することができる。

(2) 国際社会に対する広い識見をもとに、周囲と力を合わせ、未来を創造していく過程に参加することができる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

(1) 多文化の横断的学びを通して、人文科学分野で社会との共生を実感できる成果をもたらし、社会に発信する新しい文化の創造に資することができる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

(1) 最初に、多様な現代社会に対応できるように、学部・学科を越えた全学共通科目として自然・社会・人文諸科学の各科目を学ぶ。さらに基礎教育科目としての外国語科目・情報処理科目等、また、キャリア・ジェンダー・芸術（創作を含む）といった現代社会において必須とされる諸科目を学び、各専門科目への基礎を築く。

(2) 次に、日本文学科・中国文学科・英米文学科・教育学科・書道学科・歴史文化学科の6学科それぞれの基礎科目と専門科目を学ぶ。それらは各学科において体系的にカリキュラムが組まれている。

2. 教育方法

- (1) 各学科においては、少人数制のゼミや実践研究における課題に取り組むことによって、資料・情報の分析・読解能力、批評能力、自己表現能力、コミュニケーション能力、創造的実践能力の育成が目指されている。
- (2) さらに各学科において、卒業論文や卒業制作、研究テーマへの総合的取り組みが、個別的指導のもとに行われる。

3. 評価方法

- (1) 学位授与方針で掲げられた能力の評価として、文学部における卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、外部客観テスト等の結果によって測定するものとする。
- (2) 4年間の総括的な学修成果として、複数教員による卒業論文等の評価を行う。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1. 知識・技能

- (1) 入学前に日本文学・中国文学・英米文学・教育学・書道学・歴史文化学の6学科がそれぞれに定める、基礎的な知識・技能を修得している。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 各学科が求める専門的能力を身につけられるよう努力する意欲がある。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 国際社会に対する見識をもとに、周囲と力を合わせ、様々な課題に取り組む姿勢を有している。
- (2) 多様な現代社会に対応するための自然・社会・人文諸科学、外国語、情報処理、キャリア、ジェンダー、芸術等の科目を、積極的に幅広く学習する意欲を有している。